SONY®

FM/AM ミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MiniDisc

MDX-C8000

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

・ 運転者は走行中に操作をしない。
・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶ **安全な場所に車を止める**
❷ **電源を切る**
❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



目次

⚠警告



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。また、取り付ける場所が助手席用エアバックシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



⚠注意

下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



はじめに

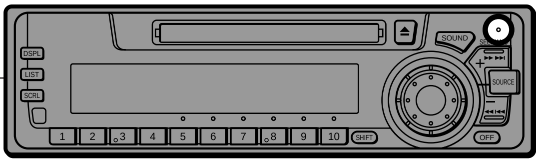
本機では、MDとラジオを聞くことができます。付属のロータリーコマンダーを使って手元で簡単に操作することができます。

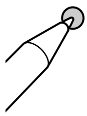
別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。以下の機器が組み合わせられます。

- **CDチェンジャー、MD（ミニディスク）チェンジャー、CDプレーヤー、CD/CD-ROMチェンジャー**
  カスタムファイル機能がCDチェンジャーおよびCDプレーヤーで、プログラム機能がプログラム演奏機能付きCD/MDチェンジャーで可能。
- **テレビチューナー、ビデオ**
- **デジタルプリアンプ**
- **FM文字多重放送ディスプレイユニット**
- **グラフィックイコライザー付DSP**

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MDチェンジャー、XDP-U50D、テレビ、ビデオを接続した場合の操作方法についても説明しています（30ページ～）。

まず、本機をリセットする

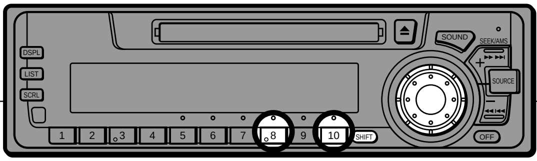




初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意
リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。

時計を合わせる



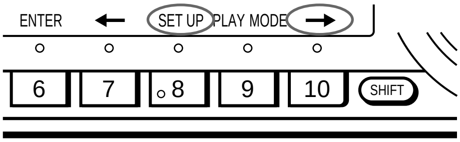
SET UP（セット アップ）

1 車のイグニッションキーをONにする。

SHIFT

2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示がでます。



SET UP 8

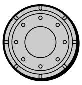
3 数字ボタン8（SET UP）を押す。



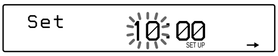
→ 10

❶ **数字ボタン10（→）を押す。**



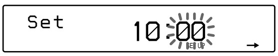


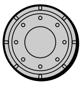
❷ **ダイヤルで「時」を合わせる。**（時計は12時間表示）



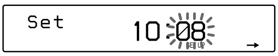
→ 10

❸ **数字ボタン10（→）を押す。**





❹ **ダイヤルで「分」を合わせる。**



SHIFT

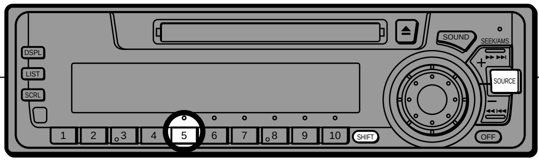
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

SHIFTボタンについて

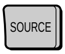
本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1〜10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

放送局を自動で登録する



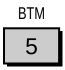
受信できる局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送（1～3チャンネル）は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。



2 SHIFTボタンを押して「BTM」を表示する。



3 数字ボタン5（BTM）を押す。

「B.T.M」（ベストチューニングメモリー）と表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



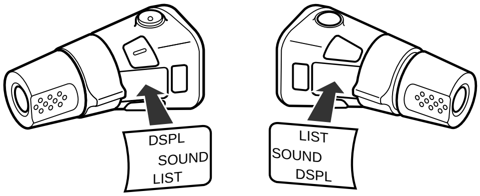
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

ロータリーコマンダーのラベルを貼る

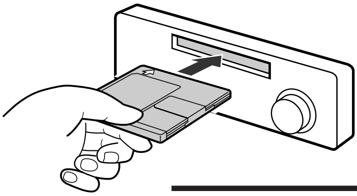
本機にはロータリーコマンダーが付属しています。ロータリーコマンダーの取り付けについては別冊の説明書を、操作については「ロータリーコマンダーの操作」（26ページ）をご覧ください。



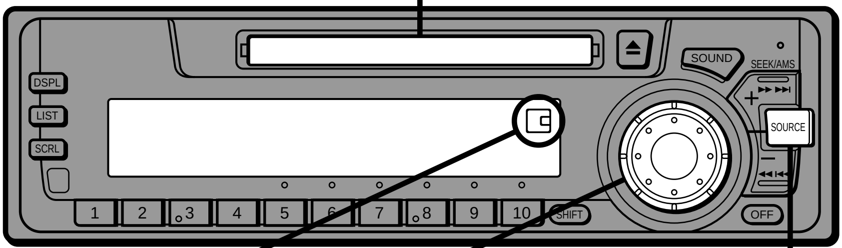
ロータリーコマンダーを取り付けた位置によってラベルをイラストのように貼る。

ＭＤを聞く

ＭＤを入れると再生が始まります



ラベルの面を上にして⇧の向きにいれます。



ディスクが入っているときに表示する

ラジオ受信のときなどでもディスクが入っていれば表示します。

音量を調節する

ＭＤが入っているときに押して「ＭＤ」を選ぶと再生が始まる

（SOURCEボタン）



本機ではＭＤに記録されたディスク名・曲名がアルファベットおよびカタカナで表示できます。

ご注意

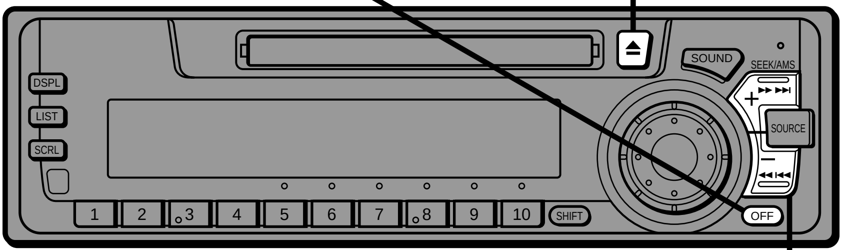
・ カタカナ表示に対応していないＭＤチェンジャーの情報はカタカナ表示はできません（くわしくは30ページをご覧ください）。
・ FM文字多重放送ディスプレイユニットFMX-77およびTVチューナーXT-40Vはカタカナ表示に対応していません。したがって、ディスク名・曲名がカタカナで記録されたＭＤを再生すると、FMX-77のディスプレイおよびXT-40Vのモニターでは正しく表示されません。
・ TVチューナーXT-40Vのモニターでは、アルファベットがすべて大文字で表示されます。

次のページへつづく

MDを聞く（つづき）

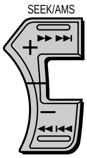
止める／電源を切る
（OFF（オフ）ボタン）

MDを取り出す
（⏏（イジェクト）ボタン）



聞きたいところを探す	**曲の頭出しをする**
（SEEK/AMS（シーク/エーエムエス）ボタン）	（SEEK/AMS（シーク/エーエムエス）ボタン）

聞きたいところを探す
（SEEK/AMS（シーク/エーエムエス）ボタン）

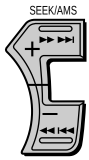


先に進める

前に戻す

押しつづけ、聞きたいところで離します。

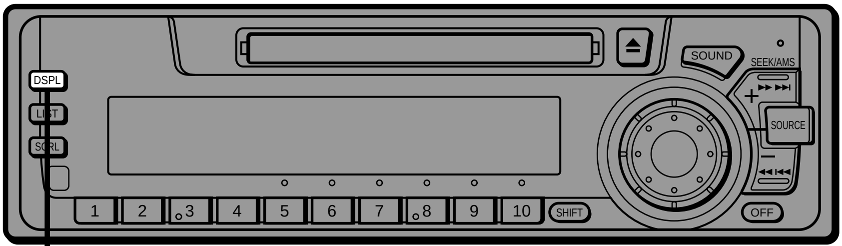
曲の頭出しをする
（SEEK/AMS（シーク/エーエムエス）ボタン）



次の曲へ

前の曲へ

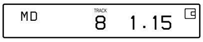
とばしたい曲の数だけ押します。



表示の見かた (DSPL（ディスプレイ）ボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。





再生経過時間

→



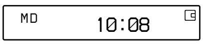
ディスクの名前*

↓



曲の名前*

←



時計

↑

＊ ディスク名が記録されていないときは、「NO D.Name」と表示後、再生経過時間表示になります。
曲名が記録されていないときは、「NO T.Name」と表示後、再生経過時間表示になります。

MDに録音日時が記録されているときは、再生中にDSPLボタンを2秒以上押すと録音日時が約3秒間表示されます。記録されていないときは、「No Date」と表示します。

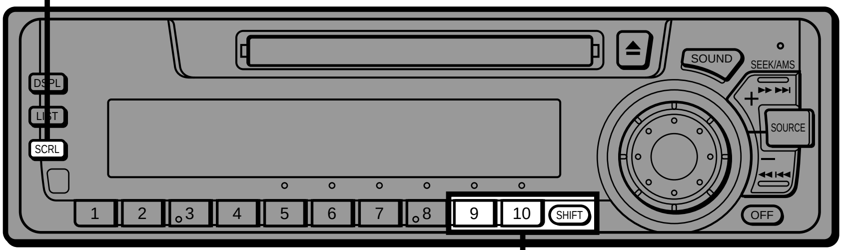
MDを聞く（つづき）

DSPLボタンを押して、表示した名前が長いとき（11文字以上）
(SCRL（スクロール）ボタン)

SCRL

表示を右から左へスクロールできます。

名前が長いとき自動的にスクロールさせることもできます。くわしくは29ページをご覧ください。



PLAY MODE（プレイ モード）

いろいろな聞きかた

・「Intro」 → 各曲の頭を10秒ずつ再生する。
・「Repeat」→ 今の曲を繰り返し再生する。
・「Shuf」 → 再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する。

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示がでます。（「SET UP」、「PLAY MODE」など）

PLAYMODE
9

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を押して表示を切り換える。

→ Intro → Repeat → Shuf → PGM ─┘

→
10

3 数字ボタン10（→）を押して「on」または「1」表示にする。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

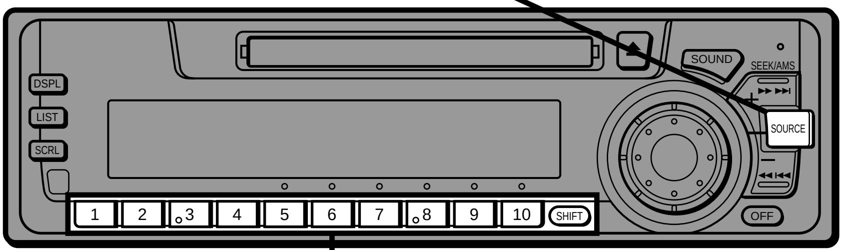
ふつうの再生に戻すには、手順3で「off」表示にします。

ラジオを聞く

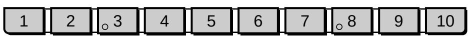
1 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または「AM」を選びます。



2 聞きたい放送局のボタンを押す（放送局を登録してあるとき）



登録のしかたについては、9ページ参照。

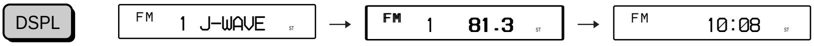
ご注意

SHIFTボタンが押されていて数字ボタンの上に「BTM」および「SET UP」、「PLAY MODE」表示が出ているときは、数字ボタンで選択はできません。この場合は、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

ラジオを聞く（つづき）

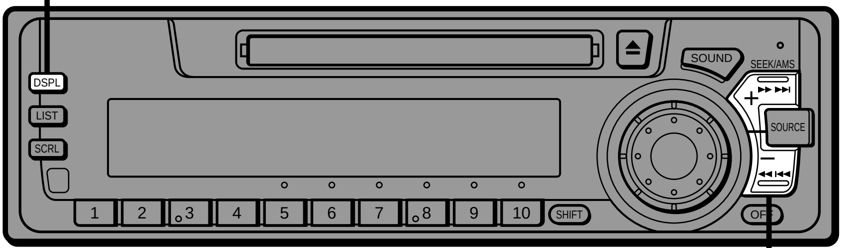
表示の見かた（DSPLボタン）

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



放送局の名前＊　　周波数　　時計

＊名前を登録していないときは「NO Name」と表示後、周波数表示になります。
ボタン操作のあと、表示切り換えが遅れることもあります。



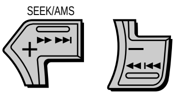
ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
2 数字ボタン9（PLAY MODE）を押して「Mono」を表示する。
3 数字ボタン10（→）を押して「Mono on」を表示する。
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

旅先などで、登録した局が受からないとき（自動選局を使う）

SEEK/AMSボタンを短く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、ボタンを押します。

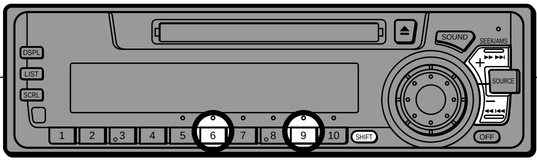


・聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押しつづけます。
・自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い局だけを受信します。

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
2 数字ボタン9（PLAY MODE）を押して「Local」表示にする。
3 数字ボタン10（→）を押して「Local on」表示にする。
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには、手順3で「Local off」を選びます。

聞きたい曲を好きな順番で聞く



プログラム

ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しめます。プログラムは、2種類組むことができ（PGM1とPGM2）、それぞれのプログラムで聞きたい順番に12曲まで登録できます。一度登録すると、ディスクを入れ換えても、最初に指定した順番のまま再生されます。

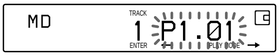
プログラムを登録する



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押す。

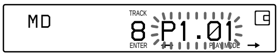


PGM1の表示

PGM2に登録したいときは、数字ボタン10（→）を押して「P2」表示にします。



3 SEEK/AMSボタンを押して登録したい曲を再生する。



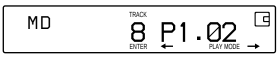
8曲目をPGM1の1番目に登録するとき



4 数字ボタン6（ENTER）を短く押して登録する。



➔



5 手順3と4を繰り返し、聞きたい順番に登録する。



6 数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押す。

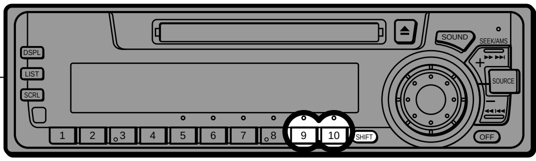


7 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 「＊Wait＊」：登録した曲の情報を読み取っていない場合に表示されます。
- 「＊Mem full＊」：13曲登録しようとすると表示されます。
- 「PGM on」設定にすると、イントロ・リピート・シャッフル機能は解除されます。

聞きたい曲を好きな順番で聞く（つづき）



プログラム

プログラムを聞く

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAYMODE 9

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を押して「PGM」表示にする。

→ 10

3 数字ボタン10（→）を押して聞きたいプログラムに切り換える。

PGM 1を再生

MD PGM 1

→

PGM 2を再生

MD PGM 2

↓

PGM 1と2をつづけて再生

MD PGM 1+2

←

ふつうの再生に戻る

MD PGM off

↑（PGM 1を再生へ）

PGM1のみ登録してあるときは、「PGM2」および「PGM1+2」表示はされません。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

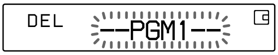
プログラムが登録されていない場合は、「NO Data」と表示されます。

プログラムを消去するには

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示します。

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押します。

3 数字ボタン7（←）を押して「DEL」表示にします。



PGM2の場合は
「DEL --PGM2--」

PGM2に切り換えるときは、数字ボタン10（→）を押して「PGM2」表示にします。

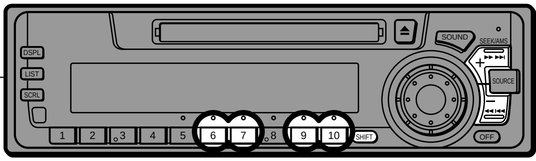
4 数字ボタン6（ENTER）を2秒以上押します。

「NO Data」と表示され、指定したプログラムの曲はすべて消えます。

5 数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押します。

6 最後に、SHIFTボタンを押します。

プログラムを変える



プログラム

曲を追加する

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAYMODE 9

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押す。

PGM2に追加するときは、数字ボタン10（→）を押して「P2」表示にします。

← 7

→ 10

3 数字ボタン7（←）または数字ボタン10（→）を押して何番目に曲を挿入するかを表示する。



PGM1の6番目に追加するとき



4 SEEK/AMSボタンで追加したい曲を選び再生する。

ENTER 6

5 数字ボタン6（ENTER）を短く押す。

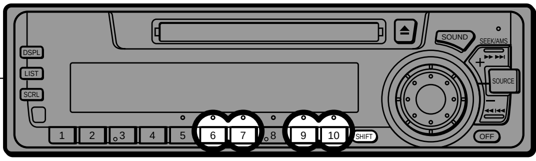
新しい曲が挿入され、それ以降の曲は1つずつずれます。
他の曲を追加するときは、手順3〜5を繰り返します。
全体の曲数が12を超えると「＊Mem full＊」と表示され、それ以上登録出来なくなります。

PLAYMODE 9

6 数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押す。

SHIFT

7 最後に、SHIFTボタンを押す。



曲を削除する

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAYMODE 9

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押す。

PGM2の曲を消すときは、数字ボタン10（→）を押して「P2」表示にします。

← 7 → 10

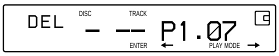
3 数字ボタン7（←）または10（→）を押して消したい曲を表示する。



7番目に登録されている曲(ディスクの5曲目)を消すとき

ENTER 6

4 数字ボタン6（ENTER）を2秒以上押す。



指定した曲が削除され、それ以降の曲は1つずつ繰り上がります。
他の曲を消すときは、手順2と3を繰り返します。

PLAYMODE 9

5 数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押す。

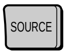
SHIFT

6 最後に、SHIFTボタンを押す。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録（9ページ）したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報（AM1,620kHzまたはAM1,629kHz）を登録しておくと便利です。

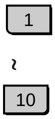


1 SOURCEボタンを押して登録したい放送局のバンド (FMまたはAM) に切り換える。



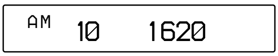
2 SEEK/AMSボタンを押して登録する放送局を受信する。





3 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。

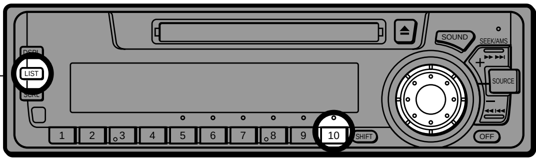
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

放送局に名前をつける



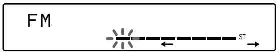
ステーションメモ

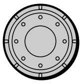
放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。
最大40の放送局に、8文字までの名前をアルファベットでつけられます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。



2 LISTボタンを表示が点滅するまで押す。

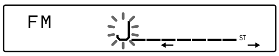




3 文字を入力する。

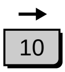
❶ ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→…Z→0→1→2→…9→+→−→*→／→＼→〉→〈→ . →＿



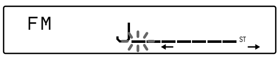
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字の間をあけたいときは、「＿」(下線) を入力します。



❷ 文字が見つかったら、数字ボタン10 (→) を押す。

次の文字を入力できるようになります。



間違えたときは、数字ボタン7 (←) を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入れます。

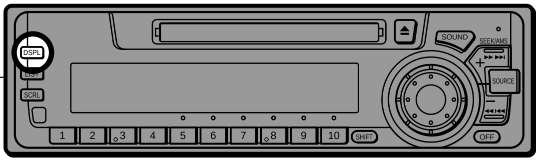
❸ 手順❶と❷を繰り返し、名前を入力する。

4 つづけて他の放送局に名前をつける場合は、その局を受信してから文字を入力する。



5 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

放送局に名前をつける（つづき）



名前を表示するには

DSPL **DSPLボタンを押して名前表示に切り換える。**

名前を登録していない場合は、「NO Name」と表示されます。

名前を消去するには

1 LISTボタンを表示窓が点滅するまで押します。

2 DSPLボタンを2秒以上押します。

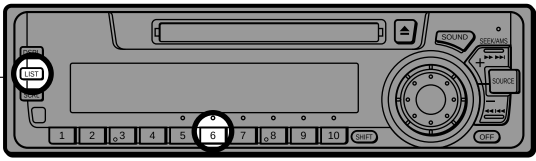
3 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。

4 数字ボタン6（ENTER）を名前が消えるまで押します。

5 LISTボタンを2秒以上押します。

「放送局に名前をつける」の手順3で、すべての文字に「＿」（下線）を入力して名前を消すこともできます。

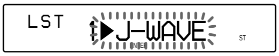
放送局を名前で探す



登録した放送局が周波数を見ながら探せます。
放送局に名前をつけておくと(23ページ)、名前が表示されます。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。



受信中の放送局の名前が点滅

名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

LIST

2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名前に切り換える。

DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、もとの表示に戻ります。

ENTER
6

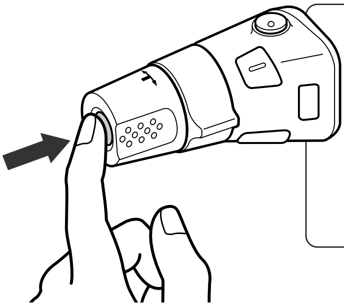
3 数字ボタン6(ENTER)を押して受信する。

ラジオ

ロータリーコマンダーの操作

CD/MDチェンジャーやテレビ・ビデオは、各機器をつないでいるときだけ操作できます。

押すと（SOURCE（ソース）ボタン）

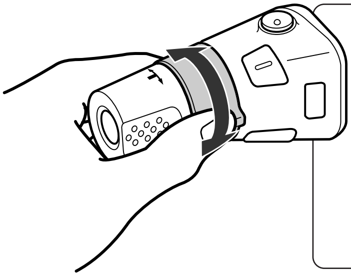


SOURCEボタンを押すと

ソースがFM→AM→CD1→CD2→MD1→MD2→テレビと切り換わる

ロータリーコマンダーのSOURCEボタンを押すと本体の電源が入ります。

回すと（SEEK/AMS（シーク/エーエムエス）つまみ）



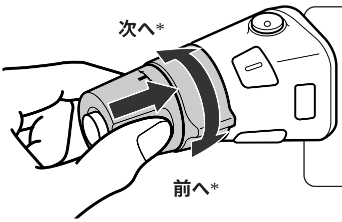
CD/MD... **短く回して離すと**曲の頭出しをする

回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る

ラジオ..... **短く回して離すと**自動的に局を受信する

回しつづけると特定の周波数を受信する

押しながら回すと（PRESET/DISC（プリセット/ディスク）つまみ）



CD/MD... チェンジャー内のディスクを切り換える

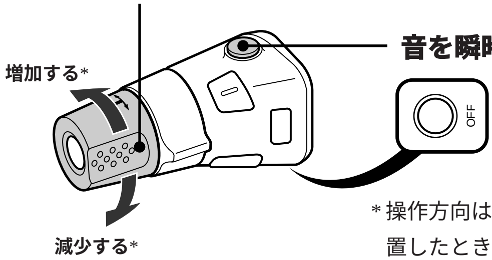
ラジオ... 登録した局を順に受信する

テレビ... 登録したチャンネルを切り換える

＊操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

その他の操作

音量を調節する（VOLつまみを回す）



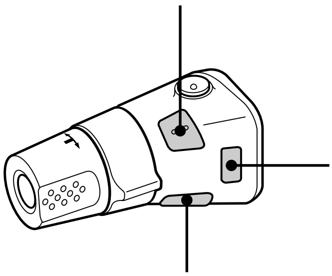
音を瞬時に消す（MUTEボタンを押す）

電源を切る（OFFボタンを押す）

＊操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

表示を換える (DSPLボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。



音量調節・音質選択する

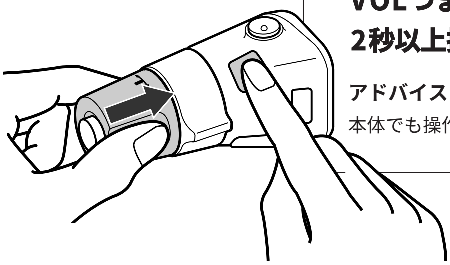
（SOUNDボタンを押す）

本体のボタンと同じ働きをします。

リストを表示する (LISTボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える



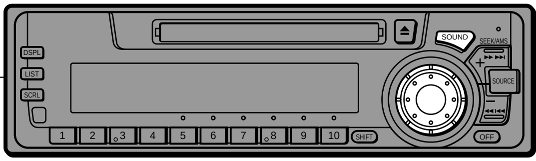
運転席の右か左に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆にできます。

VOLつまみを押しながら、DSPLボタンを2秒以上押す

アドバイス

本体でも操作方向を切り換えることができます（29ページ）。

音質や音のバランスを調節する



BAS（低音）、TRE（高音）はソースごとに調節できます。

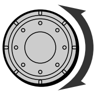


1 SOUNDボタンを押して調節したい項目にする。

→ VOL（音量）→ BAS（低音）→ TRE（高音）→ BAL（左右のスピーカーバランス）→ FAD（前後のスピーカーバランス）→

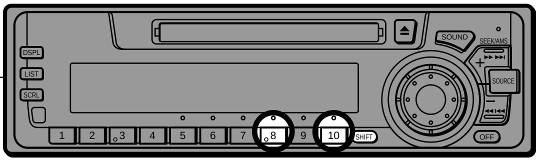
2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節（VOL）に戻ります。



	BAS	TRE	BAL	FAD
↑	弱まる	弱まる	左へ移動	後ろ方向へ移動
↓	強まる	強まる	右へ移動	前方向へ移動

音や表示などの設定を変える



SET UP（セット アップ）

次の設定ができます。

・「Amber」、「Green」→ 操作ボタンと表示窓の照明の色を変える。
・「Beep」 → 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
・「Dimmer」 → 表示窓の減光を設定する。
　「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。
　「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。
　「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
・「A.Scrl」 → DSPLボタンを押して、MDの曲名またはディスク名を表示させたとき、11文字以上の名前を自動的にスクロールする。
・「D.Info」 → 常に時計表示をさせる。
・「Loud」 → 小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
・「RM」 → ロータリーコマンダーのつまみの操作方向を切り換える。
　「norm」 → 初期設定の回転方向。
　「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
・「Contrast」 → 表示のコントラストを変える。

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SET UP
8

2 数字ボタン8（SET UP）を押して調節したい項目に切り換える。

Clock → Amber/Green → Beep → Dimmer → A.Scrl → D.Info → Loud* → RM → Contrast

＊チューナー受信中やMD再生中に表示されます。

→
10

3 数字ボタン10（→）を押して調節したい設定にする。

（例：「on」または「off」）

「Contrast」では数字ボタン10（→）を押すとコントラストが強くなり、数字ボタン7（←）を押すと弱くなります。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

その他の操作

CD/MD

別売りのCDチェンジャーやMDチェンジャーをつないで、CDやMD（ミニディスク）を再生できます。この章では、チェンジャー固有の機能について説明します。

チェンジャー内のCD/MDを聞く

SOURCE

再生中にSOURCEボタンを押して聞きたいチェンジャーに切り換える。

MDの場合

MD1（本機）→ MD2（MDチェンジャー1）→ MD3（MDチェンジャー2）

全てのディスクを順に再生します。

チェンジャーを選んだあとは、11〜14ページ、17〜21ページ(プログラム機能付きCD/MDチェンジャーやCD/MDプレーヤーなどのとき）と同じ操作ができます。

ご注意

カタカナ表示に対応していないMDチェンジャーでは、カタカナのディスク名・曲名はローマ字に変換されて表示されます。また、表示されたローマ字の前後に「^」記号が付加されます。

例　BESTヒット → BEST^HItuTO^

表示窓の見かた

DSPL

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換える。

→ ディスク名 → 曲名（MDのみ）→ 時計 →（ディスク名に戻る）

「NO Name」：名前をつけていない。

聞きたいディスクを選ぶ

1 〜 10

再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン1〜10を押す。

繰り返し聞く

リピート/PLAY MODE

・「Repeat 1」→ 再生中の曲を繰り返す。
・「Repeat 2」→ 再生中のディスクを繰り返す。
・「Repeat 3」→ チェンジャーを2台以上つないでいる場合は、再生中のチェンジャーの全ディスクを繰り返す。

SHIFT

1 再生中にSHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAYMODE 9

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を押して「Repeat」表示にする。

→ 10

3 数字ボタン10（→）を押して聞きたい設定に切り換える。

→ Repeat 1 → Repeat 2 → Repeat 3 → Repeat off

リピート演奏が始まります。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Repeat off」表示にします。

シャッフル/PLAY MODE

曲順を変えて聞く

・「Shuf 1」→ 再生中のディスクの曲を順不同に再生する。

・「Shuf 2」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に再生する。

・「Shuf 3」→ チェンジャーを２台以上つなげている場合は、全ディスクの曲を順不同に再生する。

SHIFT

1 再生中にSHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAYMODE 9

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を押して「Shuf」表示にする。

→ 10

3 数字ボタン10（→）を押して聞きたい設定にする。

→ Shuf 1 → Shuf 2 → Shuf 3 → Shuf off

シャッフル演奏が始まります。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Shuf off」表示にします。

ご注意

Shuf 2、Shuf 3ではすべての曲が再生される前に、同じ曲を再生することがあります。

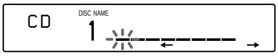
CDに名前をつける

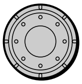
カスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はチェンジャー本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。カスタムファイルに対応しているチェンジャーを1台つないでいれば、対応していないチェンジャーに入っているCDにも名前をつけられます。



1 CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。

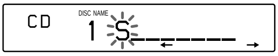




2 文字を入力する。

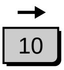
❶ ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→…Z→0→1→2→…9→+→−→*→／→＼→〉→〈→ . →_

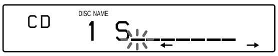


ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「_」(下線) を入力します。



❷ 文字が見つかったら、数字ボタン10 (→) を押す。



間違えたときは、数字ボタン7 (←) を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

❸ 手順❶と❷を繰り返し、名前を入力する。



3 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

CDに名前をつける（つづき）

名前を表示するには

DSPL **再生中にDSPLボタンを押して、名前表示にする。**

名前を消去するには

1 SOURCEボタンを押してCDチェンジャーを選びます。

2 LISTボタンを表示が点滅するまで押します。

3 DSPLボタンを2秒以上押します。

4 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。

名前は登録されたすべてが古い順に表示されます。

5 数字ボタン6（ENTER）を2秒以上押します。

他に消したい名前があるときは、手順4、5を繰り返します。

6 最後に、LISTボタンを2秒以上押します。

「CDに名前をつける」の手順2で、すべての文字に「＿」（下線）を入力して名前を消すこともできます。

バンク/カスタムファイル

CDの聞きたい曲だけを選ぶ

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能（33ページ）で名前をつけたCDだけです。

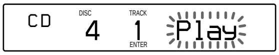
聞きたくない曲をとばすように指定する

SHIFT

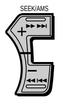
1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAYMODE
9

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を表示が点滅するまで押す。



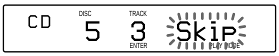
「PGM edit」表示が出たときは、CDに名前がついていません。ふつうの表示に戻るには、数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押して、SHIFTボタンを押します。名前をつけてから、操作をやり直してください。



ENTER
6

3 SEEK/AMSボタンを押してとばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6（ENTER）を押す。

表示が「Play」（再生する）から「Skip」（とばす）に変わります。



「Play」に戻すときは、もう1度数字ボタン6（ENTER）を押します。

4 同様にして、とばす曲全部に「Skip」を設定する。

PLAYMODE
9

5 数字ボタン9（PLAY MODE）を2秒以上押す。

SHIFT

6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

・「Skip」を設定できるのは24曲目までです。
・「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

CD/MD

CDの聞きたい曲だけを選ぶ（つづき）

曲をとばしながら聞く

・「Bank on」→「Play」と設定した曲だけ再生する。
・「Bank inv」→「Skip」と設定した曲だけ再生する。
・「Bank off」→ ふつうの再生。

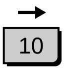


1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン9（PLAY MODE）を短く押して「Bank」表示にする。





3 数字ボタン10（→）を押して再生のしかたを選ぶ。

→ Bank on → Bank inv → Bank off →（Bank onに戻る）

バンク演奏が始まります。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Bank off」表示にします。

リスト

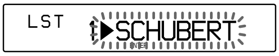
ディスクを名前で探す

MDチェンジャーまたはカスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

名前を見ながら好きなディスクを選べます。CDについては、ディスクメモ機能（33ページ）で名前をつけてからこの機能を使います。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。



再生中のディスク名が点滅

LIST

2 LISTボタンを押して聞きたいディスクの名前を表示させる。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、ふつうの表示に戻ります。

ENTER
6

3 数字ボタン6（ENTER）を押して再生する。

ご注意

- 「NO Disc」：ディスクが入っていない
- 「＊＊＊＊＊＊＊＊」：名前が入っていない。
- 「?」：本機がディスク情報を読み込んでいない。
- 別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターだけに表示されます。この場合、上記手順1〜3の操作はできなくなり、LISTボタンはリスト表示のON/OFF操作になります。

DSP

別売りのXDP-U50Dをつないで、プログラムソースにお好みの音場処理をすることができます。
別売りのXDP-U50DMk2をつないだ場合の操作は、XDP-U50DMk2に付属の取扱説明書をご覧ください。

サラウンド効果を選ぶ

DSP（デジタルシグナルプロセッサー）は音声信号をデジタル処理し、お好みの音場に変えることができます。
DSPには10種類のサラウンド効果が用意されています。音楽の雰囲気に合わせてサラウンド効果を選ぶと、車内で臨場感あふれる音を楽しめます。

種類	効果
HALL（ホール）	コンサートホールの雰囲気
JAZZ（ジャズ）	ジャズクラブの雰囲気
DISCO（ディスコ）	堅い壁と床のディスコの雰囲気
THEATER（シアター）	映画館の雰囲気
PARK（パーク）	広々とした野外の雰囲気
LIVE（ライブ）	ライブハウスの雰囲気

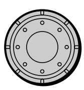
種類	効果
OPERA（オペラ）	オペラハウスの雰囲気
CHURCH（チャーチ）	残響音の多い教会の雰囲気
STADIUM（スタジアム）	野外スタジアムでのコンサートの雰囲気
CELLAR（セラー）	残響音の多い地下室の雰囲気
DEFEAT（デフィート）	通常の状態

1 サラウンドを設定したいソース（MD、ラジオなど）を再生する。



2 SOUNDボタンを押して「SUR」表示にする。





3 ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。

設定したサラウンド効果に切り換わります。
3秒後にふつうの表示に戻ります。

ふつうの設定に戻すには、手順3で「DEFEAT」表示にします。

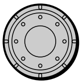
サラウンド効果の反射音・残響音を調節する

1 **サラウンドを設定したいソース（MD、ラジオなど）を再生する。**



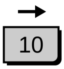
2 **SOUNDボタンを表示が点滅するまで押す。**





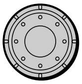
3 **ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。**





4 **数字ボタン10（→）を押す。**





5 **ダイヤルを回して好みのレベル(0〜100%)にする。**

数字が大きくなるほどライブ感は強くなります。



6 **最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。**

DSPカスタムファイル

CDごとにサラウンド効果を登録する

ディスクごとにお好みのサラウンド効果を登録できます。この機能が使えるのは、ディスクメモ機能（33ページ）でディスクに名前をつけている場合です。

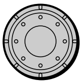


1 CDを再生し、LISTボタンを2秒以上押す。



2 LISTボタンを押してサラウンド効果の表示にする。





3 ダイヤルを回して、好みのサラウンド効果を選ぶ（一覧は38ページ）。



4 LISTボタンを2秒以上押して設定する。

ご注意

プログラム演奏機能に対応していないCD/MDチェンジャーやCD/MDプレーヤーなどを接続したときは、接続した機器のディスク情報は登録できません。

登録したサラウンド効果で再生するには

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示します。

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を短く押して「D.File」表示にします。

3 数字ボタン10（→）を押して「D.File on」表示にします。

5秒後にふつうの表示に戻ります。

ふつうの再生に戻るには、手順2で「D.File off」を選びます。

登録したサラウンド効果を変えるには

登録の手順1~4 を行います。

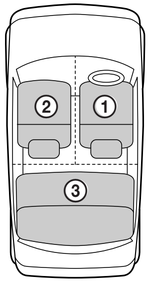
登録したサラウンド効果を消すには

登録の手順3で「DEFEAT」を選びます。

リスニングポジションを選ぶ

聞き手の位置（リスニングポジション）に合わせて、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、快適で自然な音像定位を可能にします。座っている位置が音場の中心になるよう5つのリスニングポジションから選べます。

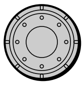
表示	種類	音場の中心
LP1	All	通常の状態（①、②、③）
LP2	Front	前方（①、②）
LP3	Front R	前方右（①）
LP4	Front L	前方左（②）
LP5	Rear	後方（③）





1 SOUNDボタンを短く押して「LP1」表示にする。





2 ダイヤルを回してリスニングポジションを選ぶ（上の一覧を参照）。

回すたびに切り換わります。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

リスニングポジションを選ぶ（つづき）

リスニングポジションを微調節する

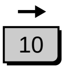


1 **SOUNDボタンを2秒以上押す。**



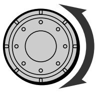
2 **SOUNDボタンを短く押してリスニングポジションの表示にする。**





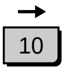
3 **数字ボタン10（→）を押す。**

4 **ダイヤルを回して音場の左右の中心を設定する。**



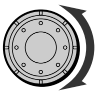
L（左）へ移動

R（右）へ移動



5 **数字ボタン10（→）を押す。**

6 **ダイヤルを回して音場の前後の中心を設定する。**



R（後ろ）へ移動

F（前）へ移動



7 **最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。**

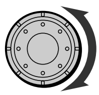
前後のスピーカーバランスを調節する

本機ではサラウンド効果を選んでいるときとふつうの状態（DEFEAT）それぞれでスピーカーバランスを調節できます。
サラウンド効果を選ぶとリスニングポジションの効果を高めるために、リアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。リアスピーカーの音量を上げたいときには「FAD」（フェーダー）を調節してください。



1 SOUNDボタンを押して「FAD」表示にする。

2 ダイヤルを回してフェーダーを設定する。



R（後ろ）へ移動

F（前）へ移動

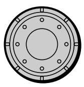
3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーの音量を調整する

1 音量を設定したいソース（MD、ラジオなど）を再生する。



2 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。



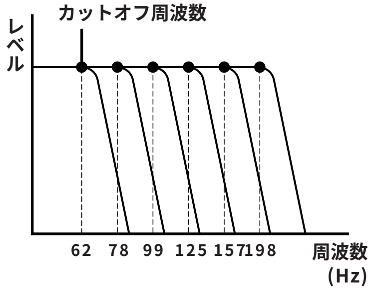
3 ダイヤルを回して音量を調整する。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーの音量を調整する（つづき）

サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

サブウーファーから出力される音のうち、中高域の周波数を除きます（カットオフ）。サブウーファーは低い周波数のみを出力し、明確な音場を作り出します。つないであるサブウーファーの周波数特性に合わせて、6種類のカットオフ周波数の中から選びます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



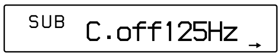
1 カットオフ周波数を設定したいソース（MD、ラジオなど）を再生する。

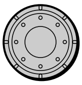


2 SOUNDボタンを2秒以上押す。



3 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。





4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

62Hz→78Hz→99Hz→125Hz*→157Hz→198Hz

*：初期値



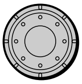
5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

低音・高音の音量を調節する

1 **音質を設定したいソース（MD、ラジオなど）を再生する。**



2 **SOUNDボタンを押して「BAS」（低音）または「TRE」（高音）表示にする。**

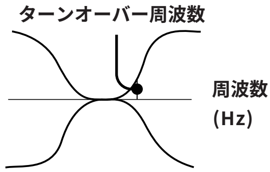


3 **ダイヤルを回して音量を調整する。**

3秒後にふつうの表示に戻ります。

ターンオーバー周波数を選ぶ

低音または高音を変化させたときの変化開始点の周波数のことをターンオーバー周波数といいます。ターンオーバー周波数は低音と高音で4種類ずつ用意されています。



1 **ターンオーバー周波数を設定したいソース（MD、ラジオなど）を再生する。**

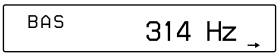


2 **SOUNDボタンを2秒以上押す。**

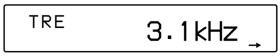


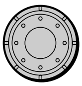
3 **SOUNDボタンを押して「BAS」（低音）または「TRE」（高音）表示にする。**

BAS（低音）設定の表示



TRE（高音）設定の表示





4 **ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。**

Bass（低音）：198Hz → 250Hz → 314Hz* → 396Hz
Tre（高音）：2.0kHz → 3.1kHz* → 4.0kHz → 5.0kHz
***：初期値**



5 **最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。**

ラストサウンドメモリー

前回と同じサラウンド効果で聞く

最後に選んだサラウンド効果をソースごとに記憶させることができます。途中でソースを切り換えたり電源を切ったりしても、前にそのソースを聞いたときと同じサラウンド効果およびイコライザーカーブで聞くことができます。

ご注意

TVチューナーとTVモニターまたはFM文字多重放送受信ユニットを接続した場合、TVモニターまたはFM多重用モニターに「LSM」（ラストサウンドメモリー）と表示されます。

SET UP（セット アップ）

ラインアウトのレベルを選ぶ

音が割れて聞きづらいときにラインアウトのレベルを切り換えます。

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SET UP 8

2 数字ボタン8（SET UP）を押して「L.out」表示にする。

→ 10

3 数字ボタン10 (→) を押して設定を選ぶ（ミ10またはミ16）。

ご注意

ラインアウトレベル切り換えは使用できない機種があります。

テレビ・ビデオ

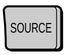
テレビやビデオはもちろん、チェンジャーに入っているCDやMDのタイトルをテレビ画面で見ることもできます。
テレビを見るには別売りのチューナーとモニターを、ビデオを見るには別売りのビデオデッキとモニターをつないでください。

テレビを見る

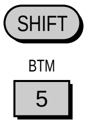
TVチューナーユニットとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。あらかじめ、受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選べます。

チャンネルを自動で登録する

最大10局まで登録できます。



1 SOURCEボタンを押して「TV」表示にする。



2 SHIFTボタンを押してから数字ボタン5（BTM）を押す。

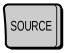
受信できる放送局を探し始め、チャンネル順に数字ボタン1～10に割り当てます。

その他の操作

チャンネルを選ぶには	数字ボタン1～10を押す。
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」（16ページ）と同じ手順を行う（ステレオ放送受信中）。
副音声を聞くには	SHIFTボタンを押してから数字ボタン9（PLAY MODE）を押して「Main」表示にする。それから数字ボタン10（→）を押して「Sub」表示にする（2か国語放送受信中）。
特定のチャンネルを登録するには	「特定の放送局を登録する」（22ページ）と同じ手順を行う（手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます）。
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」（23ページ）と同じ手順を行う（手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます）。

ビデオを見る

ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。



1 SOURCEボタンを押して「Video 1」を選ぶ。

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子につないでいるときは、「Video 2」表示に切り換えます。

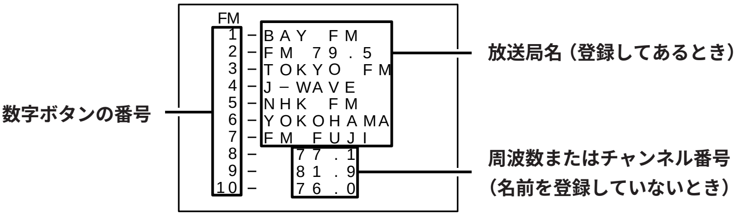
2 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

登録したテレビチャンネルやラジオ局をTV画面で一覧できます。



ラジオまたはテレビを受信中にLISTボタンを短く押す。



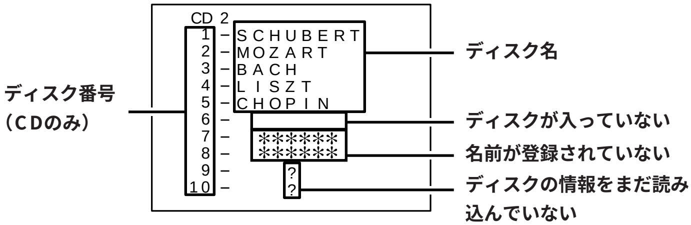
現在受信中の放送局は赤紫色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、ラジオ受信中はもう1度LISTボタンを押します。テレビ受信中は、自動的にテレビ画面に戻ります。

CD/MDの情報を見る

ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能（33ページ）で名前をつけてからこの機能をお使いください。

LIST **再生中にLISTボタンを短く押す。**



現在再生中のCDは赤紫色、MDは黄色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、もう1度LISTボタンを押します。

ご注意

- MDのカタカナのディスク名、曲名および一部の記号は表示されません。
- 名前はすべて大文字で表示されます。

別売りのCD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61とバスシステム接続キットRC-130を本機に接続すると音楽CDに加えてビデオCDやCD-Gをコントロールして画像を再生できます。さらに画像を楽しむには、お手持ちのテレビモニターかナビシステムに接続してください。

音声を切り換える

音声多重ディスク（ビデオCDやCD-Gなどの一部）では、左右のチャンネルに別々の音声が録音されています。このようなディスクでは左右どちらか、片方のチャンネルの音を選んで左右両方のスピーカーで聞けます（このような場合音声はモノラルになります）。

本機でCD/CD-ROMチェンジャーの音声を切り換えるにはDSPLボタンによる操作ではなく以下のようにしてください。

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます。（「SET UP」、「PLAY MODE」など）

PLAYMODE 9

2 数字ボタン9（PLAY MODE）を押して、「Stereo」を表示する。

→ 10

3 数字ボタン10（→）を押して「L mono」か「R mono」を選ぶ。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

システム接続をするときのご注意

XDP-U50DMk2とCSX-500EQをシステムアップ時のサブウーファーカットオフ周波数について

本機とグラフィックイコライザー付きユニットCSX-500EQおよびDSPコントロールユニットXDP-U50DMk2を接続したシステムでお使いのとき、接続方法によってはサブウーファーのカットオフ周波数はCSX-500EQで設定されている3種類のみになります。この場合は、CSX-500EQ側の3種類の中から設定するか、または接続方法をお確かめください。接続方法についてくわしくはXDP-U50DMk2に付属の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。

グラフィックイコライザー付きユニットCSX-500EQまたはCSX-88EQをシステムアップ時のユーザープリセットメモリーについて

ユーザープリセットのMEMORY1、2、3にはそれぞれ1種類のイコライザーカーブを登録することができます。1つのメモリー番号に2種類以上登録すると、以前に登録したイコライザーカーブは消えてしまいます。

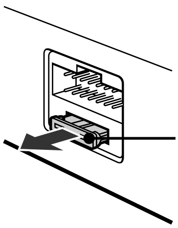
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、ＭＤプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、ＭＤプレーヤーが動作しないことがあります。

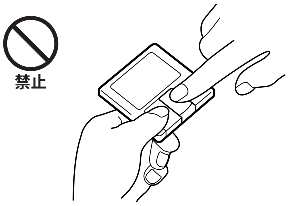
周囲の状況にもよりますが、ＭＤを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

ＭＤの取り扱い

ＭＤ自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

ＭＤ内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。



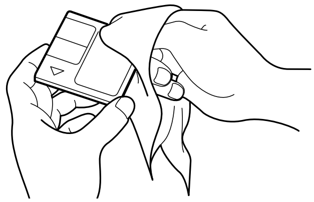
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

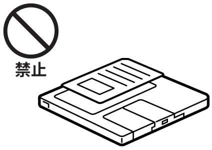
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



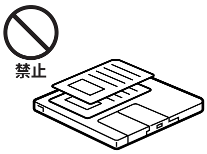
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、ＭＤが本機から取り出せなくなることがあります。

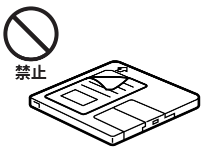
・ 指定の場所に貼ってください。



・ 重ねて貼らないでください。



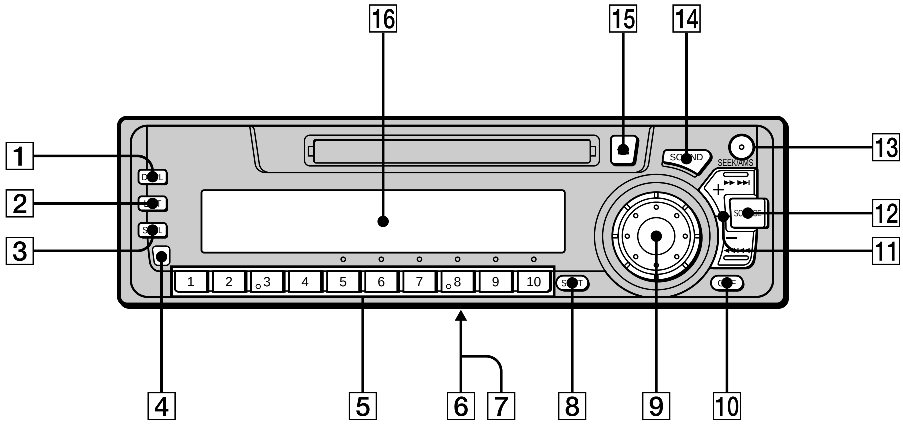
・ ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



各部のなまえ

本体

●内のページにくわしい説明があります。



1 DSPL（ディスプレイ）（表示切り換え）ボタン
⓭⓰㉔㉚㉞

2 LIST（リスト）ボタン

CD/MD ㉝㊲

DSP ㊵

テレビ ㊽㊾

ラジオ ㉓㉕

3 SCRL（スクロール）ボタン ⓮

4 リモコン受光部

5 数字ボタン1～10

CD/MD ㉛

テレビ ㊽

ラジオ ⓯㉒

6 パワーセレクトスイッチ（底面）

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

7 音声出力/入力切り換えスイッチ（底面）

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

8 SHIFT（シフト）ボタン

BTM ❾㊼

PLAY MODE ⓮⓰⓱⓲⓴㉑㉛㉜㉟㊱㊿

SET UP ❼㉙㊻

9 VOL（ボリューム）/BAS（バス）/TRE（トレブル）/BAL（バランス）/FAD（フェーダー）（音量調節）ダイヤル ❼㉓㉘㉝㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

10 OFF（オフ）（電源切り）ボタン ⓬

11 SEEK/AMS（シーク/エーエムエス）（頭出し/ラジオ選局）ボタン ⓬⓰⓱⓴㉒㉟

12 SOURCE（ソース）（FM/AM/CD/MD/映像切り換え）ボタン ❾⓫⓯㉒㉚㊼㊽

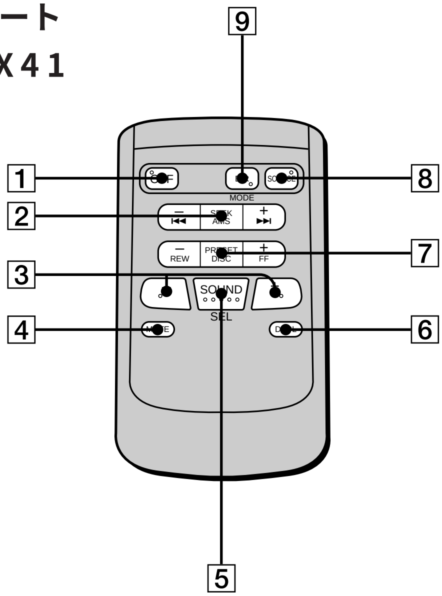
13 リセットボタン ❻

14 SOUND（サウンド）（音質調整）ボタン
㉘㊳㊴㊶㊷㊸㊹㊺

15 ⏏（イジェクト）（CD取り出し）ボタン ⓬

16 表示窓

ワイヤレスリモートコマンダーRM-X41（別売り）



1 OFF（電源切り）ボタン

2 SEEK/AMS（頭出し/ラジオ選局）ボタン

3 (+)(−)ボタン

4 MUTE（音切り）ボタン

5 SOUND（音量調節/音質調整）ボタン

6 DSPL（表示切り換え）ボタン

7 PRESET/DISCボタン

ラジオ… 登録した局を選局

CD/MD… ディスク交換

8 SOURCE（FM/AM/CD/MD/映像切り換え）ボタン

9 DIRボタン

本機ではこのボタンは働きません。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	・音量を上げてください。 ・スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。 ・イコライザー接続時にフェーダーがリア側になっている。 イコライザーなどを接続して使用するときは、本機のフェーダーはセンターに合わせてください。 ・イコライザーなどを接続していないのに、音声出力/入力切り換えスイッチが❷側になっている。 音声出力/入力切り換えスイッチを①側にしてからリセットボタンを押してください（取り付けと接続編もご覧ください）。
共通	電源OFF時に時計表示にならない。	パワーセレクトスイッチが🅑になっている。 パワーセレクトスイッチをⒶにしてからリセットボタンを押してください（アクセサリーポジションのある車のみ）。
共通	ラウドネスの効果がかからない。	大音量になっている。音量を下げてください。 ラウドネス効果は小音量時だけかかります。また、別売りのXDP-U50D、XDP-U50DMk2、XDP-66EQまたはXDP-600EQ接続時はラウドネス機能は働きません。
共通	メモリーの内容が消えてしまった。	・リセットボタンを押した。 ・動作用電源コードまたはバッテリーをはずした。 ・電源コードが正しく接続されていない。
共通	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている（29ページ）。
MD	MDが入らない。 MDを入れてもすぐに出てくる。	・すでに別のMDが入っている。 ・MDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上にして矢印の向きに入れてください。
MD	音がとぶ。	・本機の取り付け角度が20°を越えている。 ・チェンジャー本体がしっかりしていない所に取り付けてある。 ・ごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

	症状	原因・処置
MD	ディスク名・曲名がカタカナ表示されない。	MDチェンジャーがカタカナ表示に対応していない（30ページ）。
	ディスク名・曲名が表示されない。	別売りのTVチューナーとTVモニターを接続したとき名前はTVモニターのみに表示されます（37ページ）。
ラジオ／テレビ	受信できない。 雑音しか出ない。	・カーアンテナとの接続を確認してください。 ・オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをANT/REM（青）コードに接続してください。 ・周波数を確認してください。
	SEEKボタンを押しても聞きたい局で止まらない。	・「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください（16ページ）。 ・電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押しつづけて周波数を合わせてください。
CD	音がとぶ。音が途切れる。 音が割れる。	・CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。 ・ディスクが傷ついている。
	ディスク名が表示されない。	別売りのTVチューナーとTVモニターを接続したとき名前はTVモニターのみに表示されます（37ページ）。
DSP	音が出ない。 音が小さい。	XDP-U50DまたはXDP-U50DMk2（別売り）を接続した場合は、リスニングポジションの設定の効果を高めるためにリアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。 DSP機能「入/切」それぞれの状態の前後スピーカーバランス設定をしてください。

次のページへつづく

故障かな？

CD/MDのエラー表示

CDやMDが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank*	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
Error*	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
HighTemp	周囲の温度が50。C以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Mag	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
Not Ready	MDチェンジャーのフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。
	CD/MDが入っていない。	CD/MDを入れる。
PushReset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

＊ディスクマガジン内でエラーを起こしたディスク番号が表示されます。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

MDプレーヤー部

SN比	96dB
周波数特性	5～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz(テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	10dBf
周波数特性	30～15,000Hz
SN比 50dB感度（IHF）	18dBf
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	62dB（ステレオ） 65dB（モノラル）
ひずみ率（1kHz）	0.9%（ステレオ） 0.5%（モノラル）
ステレオセパレーション	35dB以上（1kHz）
キャプチュアレシオ	2dB

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

適合インピーダンス	4～8Ω
最大出力	35W×4（4Ω負荷1kHz）

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー （マイナスアース）
出力端子	FMコンポジット出力端子、 フロント/リヤ音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子
本体寸法	約178×50×170mm （幅／高さ／奥行き）
取付寸法	約178×50×154mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約1.5kg
付属品	ロータリーコマンダーRM-X2S（1） 取り付け/接続部品（一式） 取扱説明書（一式） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）
別売品	ワイヤレスリモートコマンダー RM-X41 CDチェンジャー CDX-81（10枚）、 CDX-91（10枚）、 CDX-T60（6枚）、 CDX-T62（6枚） CD/CD-ROMチェンジャー CDX-R61（6枚） MDチェンジャー MDX-60など グラフィックイコライザーCDプレーヤー CSX-500EQ デジタルプリアンプ XDP-U50DMk2、 XDP-600EQ FM文字多重放送ディスプレイユニット　FMX-77 TVチューナーユニット XT-40V ソースセレクター XA-C30 バスケーブル（RCAピンコード付属） RC-61（1m）、 RC-62（2m） RCAピンコード RC-63（1m）、 RC-64（2m）RC-65（5m） バスシステム接続キット RC-130

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

Sony Corporation　Printed in Japan

I-3-858-676-01(1)